

一般質問

定例会の本会議では、議員が市長に対し、市が行う様々な取組や問題点に関し、幅広く質問をする「一般質問」が行われます。

議員の質問に対し、市は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。このやり取りは、市民の代表である議員が市民の皆様の思いを行政サービスに反映させるという大切な役目を果たしています。

皆さんの身近な生活に関することや、興味関心があることについての質問もあると思いますので、ぜひチェックしてみてください！



長崎市議会事務局キャラクター「バテイさん」

概要

一般質問

議決結果

2月定例会
審査の主な内容

特別委員会
からの報告

議会の動き

自民創生

文化財

鳴滝塾の復元

問 シーボルトが西洋医学を伝えた鳴滝塾の復元は長崎が近代医学に果たした役割の理解につながり、コロナ後の地域振興策の目玉として時機を捉えた取組と考えるが、現在の取組状況と今後の見通しについて伺いたい。

答 近年の調査でミュンヘン五大陸博物館が所蔵する家屋模型が旧鳴滝塾のものであることが確定したため、令和4年7月に現地における3D計測などの実測調査の成果をもとに、現在の模型の複製品を製作中で、本年3月末に完成予定である。本年はシーボルト来日200周年であり、その記念事業として、シーボルト記念館でのお披露目を予定している。今後、実測調査結果から実際の建物に関する情報などを読み取る作業に建築等の専門家に意見をいただきながら取り組んでいく。その上で、将来的な鳴滝塾の復元や再現の可能性について、文化庁等の関係機関と協議を進めていきたい。

市民活動

市民協働の取組

問 市民活動センター「ランタナ」における令和5年度以降の市民協働の方向性と取組について伺いたい。

答 ランタナはまちづくりの推進を図る活動などを行っている市民活動団体の活性化を目的として平成20年10月に開設され、平成30年4月からは指定管理者制度を導入し、現在はNPO法人が管理運営を行っている。令和5年度以降の取組としては、市民活動団体だけでなく、企業を含む様々な主体へのコーディネート・ネットワークキング機能の拡充、次世代を担う若い世代への参画促進の強化、市民活動団体の経営能力の強化、オンライン配信のサポートなどアフターコロナを意識した活動支援の強化、時代ニーズに合った事業の実施についてランタナと本市が連携を強化しながら、相談業務をはじめ、交流事業や講座、研修会の開催など、具体的に取組を進めることとしている。



▲市民活動センター「ランタナ」

観光

くunchi資料館の整備の検討状況

問 現在、グラバー園の伝統芸能館において行われている長崎くunchiの展示については、まちなかへの移転が望ましいと思うが見解を伺いたい。

答 令和4年にながさき大くunchi展が開催され、多くの市民や観光客が来場し、改めて長崎くunchiが重要な観光資源であると認識している。現在の伝統芸能館での保管・展示については、くunchi関係者からは建物が保管場所として狭小であり、くunchiに關係するまちなかで保管・展示すべきとの要望を受けており、本市としても同様に考えていることから、各踊町が所有している演し物等の保管状況に関する聞き取りや類似施設等の調査を行ったほか、仮に施設を整備した場合の施設の規模や必要な機能の概算事業費の試算等を行っている。引き続き、くunchi関係者からの意見を伺いながら、まちなかにおける候補地の把握に努め、今後、適地が生じた際に具体的な検討に移れるよう進めていきたい。